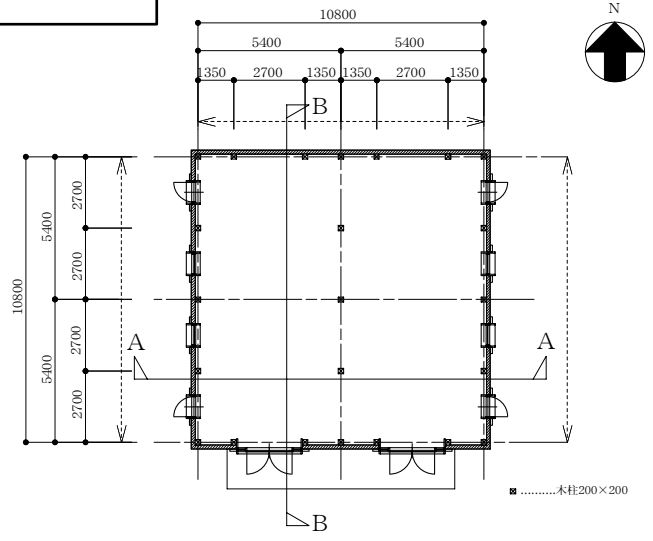
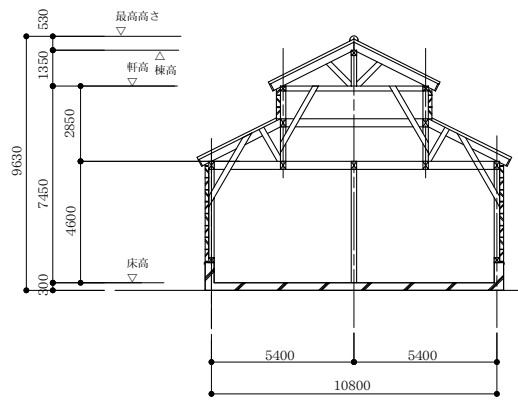


別紙資料

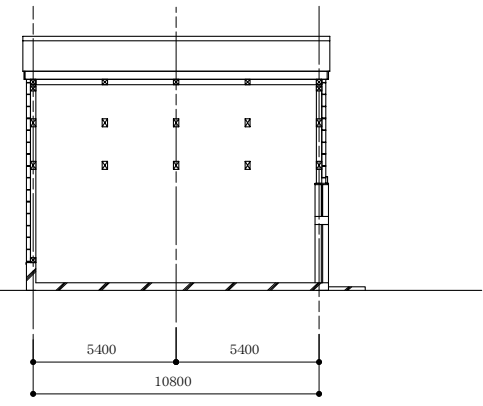


平面図（縮尺1/200）

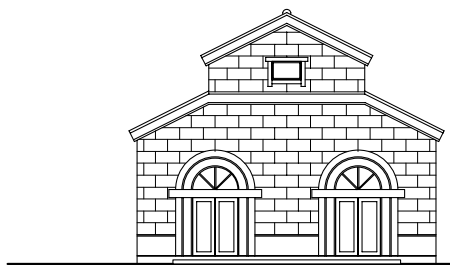
※平面図において点線で示す部分は、新設部と接続させることができる位置を示す。



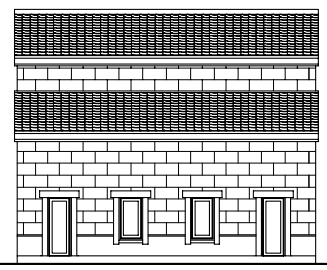
A-A 断面図（縮尺1/200）



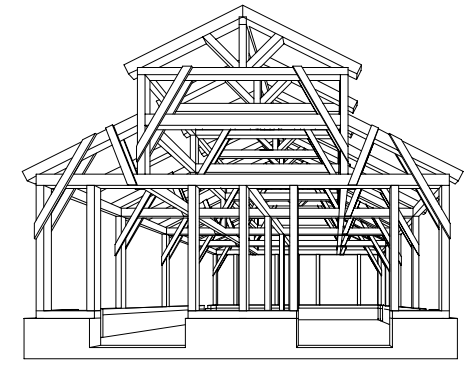
B-B 断面図（縮尺1/200）



南側 立面図（縮尺1/200）



東側 西側 立面図（縮尺1/200）



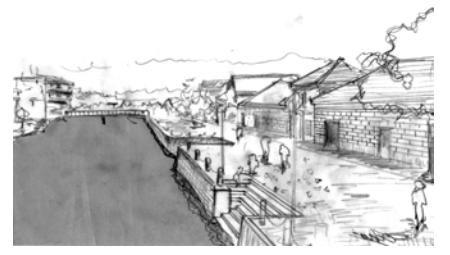
軸組バース

問題文中の景観法及びまちづくり景観条例については下記の項目についてのみ考慮するものとする。

【まちづくり景観条例について】

1. 歴史的建造物を含めた歴史景観の保全として、新築あるいは改修建物の主にファサードに対して、新旧混在の「地域らしい」調和のある立面計画とする。

【参考資料】
 【景観法 第二条（基本理念）】
 良好な景観は、地域の固有の特性と密接に関連するものであることにかんがみ、地域住民の意向を踏まえ、それぞれの地域の個性及び特色の伸長に資するよう、その多様な形成が図られなければならない。



【敷地周辺イメージ】